

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
概要（全体）

東郷町地域公共交通会議

平成19年8月1日設置

令和3年3月 東郷町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和3年4月～令和9年3月)

令和3年6月21日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和4年6月7日 令和3年度分の地域公共交通計画の評価等結果の送付

【東郷町の概要】

人口：43,757人（令和4年9月30日現在）

特性：鉄道駅がないため、バス路線のみで公共交通ネットワークを形成。

交通の将来像

公共交通が暮らしとともにある 安心して住み続けられるまち

- 基本方針1
町内各地域及び尾三地区等の広域的な連携・交流を強化
- 基本方針2
多様な公共交通手段により、地域に適した移動サービスを確保・導入
- 基本方針3
東郷町の公共交通に関わる全ての関係者が交通と福祉の視点で連携・協働し、公共交通を支え育む取組を展開




2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
じゅんかい君路線の再編及び東郷・藤田医大バス路線の新設 【基本方針1】 【基本方針2】	令和3年4月にじゅんかい君の路線再編を実施し、全路線バスターミナル（ららぽーと愛知東郷近接）発着に変更。また、本町に大規模病院がないことから、町民の公共交通による大規模病院へのアクセス利便性向上を図るため、東郷・藤田医大バスを新設。	★南西コース 24,664人 東コース 34,368人 ★北コース 101,692人 東郷・藤田医大バス 3,064人	再編以前よりじゅんかい君の利用の多い地区の本数を増やすとともに、バスターミナルを交通結節点とすることで利用者数が前年比5.5%増加（152,335人→160,724人）



2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>新たなモビリティの導入 【基本方針2】 【基本方針3】</p>	<p>デマンドタクシー ※ ■ 第三期実証実験 (令和3年11月から令和4年3月) ■ 本格運行(令和4年7月から)</p> <p>※民間の空きタクシーを利用した補助制度</p>	<p>【第三期実証実験】 ■ 登録者数 742人(令和4年3月31日現在) ■ 実利用者数 259人(令和4年3月31日現在) 【本格運行】 ■ 登録者数 859人(令和4年9月30日現在) ■ 実利用者数 301人(令和4年9月30日現在)</p> 	<p>バス停まで移動することが困難な人に対応するため、令和2年度から三度にわたり実証実験を実施。第二期実証実験までジャンボタクシーを2台借り上げて運行していたが、乗合率が低く輸送効率と比較して経費が膨大であったため、民間の空きタクシーを活用した補助制度に変更し、輸送効率が向上。広報誌や回覧の他、地域包括支援センターからの利用者への案内や他部署が送付する郵送物へ同封するなどの周知を実施したことから、第三期実証実験と比較し、登録者数・実利用者数とも増加。</p>

取組名称

取組の概要

実施結果

実施結果の考察

平和堂ららぽーと愛知東郷店×LivR TOGO×じゅんかい君及び東郷・藤田医大バスのスタンプラリーの実施（令和3年10月1日から10月17日まで）

期間中にじゅんかい君等バスを利用した方にスタンプラリーカードを配布。平和堂ららぽーと愛知東郷店で500円以上のお買い物をした人、LivR TOGOに来場した人に粗品をプレゼント。

■参加者数 81人



■令和3年10月の利用者数について、前年比（15,061人→14,227人）と減少。イベントについて、81人の方に参加いただいたが、イベント開始前日まで緊急事態宣言が出ていることから、バス利用が伸びなかったことが要因と考える。

じゅんかい君及び東郷・藤田医大バス利用者からららぽーと愛知東郷の優待カードを配布（令和4年9月9日から10月31日まで）

期間中にじゅんかい君等バスを利用した方からららぽーと愛知東郷の対象店舗で提示するとお買い物がお得になる優待カードをプレゼント。

■配布枚数 262枚



ららぽーと愛知東郷館内サイネージ

■令和4年9月及び10月の利用者数について、前年比9月（13,345人→14,635人）、10月（14,227人→15,338人）と増加。ららぽーと愛知東郷のホームページや館内サイネージへの掲載や日進市及び豊明市の広報誌にも掲載したことから、当該取組について市外の人からの問合せもあった。

【基本方針3】



バスでららぽーとに行ってみよう！

対象期間中に東郷が運営する「東郷・藤田医大バス」を利用すると、豊明市民もららぽーと愛知東郷で使える優待カードがプレゼントされます。この機会にぜひ公共交通を利用してお出かけしましょう。

○ららぽーと愛知東郷の優待カードプレゼント対象期間

▼期 間 9月9日(日)～10月31日(日)

▼対 象 東郷が運営する「東郷・藤田医大バス」と「じゅんかい君」

▼特 典 ららぽーと愛知東郷特別優待カード
特典内容は2元コードよりご確認ください。

▼その他 ①優待カードを無効とする人は、バス乗降員にお断りください。
※市の対応が完了するまでは優待カードではご利用できません。
②優待カードの枚数には限りがあるため、販売完了を過ぎる場合があります。
③東郷・藤田医大バスの路線、利用方法、本記事に関する詳細は、東郷町未来プロジェクト課（056-564763）へお問い合わせください。

○藤田医科大学病院×ららぽーと愛知東郷シャトルバス（東郷・藤田医大バス）

基本運賃	運賃														
1乗車 300円 平日のみ運行 （12月20日～12月23日を除く） ※乗車前日20時以降は乗車券を 1枚追加して乗車可能 （12月20日～12月23日を除く） ※乗車券を2枚追加して乗車可能 （12月20日～12月23日を除く） ※乗車券を3枚追加して乗車可能 （12月20日～12月23日を除く） ※乗車券を4枚追加して乗車可能 （12月20日～12月23日を除く）	<table border="1"> <tr> <td>藤田医科大学病院</td> <td>7:55</td> <td>9:05</td> <td>10:05</td> <td>11:15</td> <td>14:30</td> <td>16:10</td> </tr> <tr> <td>ららぽーと愛知東郷</td> <td>8:15</td> <td>9:25</td> <td>10:25</td> <td>11:35</td> <td>14:50</td> <td>16:30</td> </tr> </table>	藤田医科大学病院	7:55	9:05	10:05	11:15	14:30	16:10	ららぽーと愛知東郷	8:15	9:25	10:25	11:35	14:50	16:30
藤田医科大学病院	7:55	9:05	10:05	11:15	14:30	16:10									
ららぽーと愛知東郷	8:15	9:25	10:25	11:35	14:50	16:30									
	<table border="1"> <tr> <td>ららぽーと愛知東郷</td> <td>7:30</td> <td>8:40</td> <td>9:40</td> <td>10:50</td> <td>14:05</td> <td>15:45</td> </tr> <tr> <td>藤田医科大学病院</td> <td>7:50</td> <td>9:00</td> <td>10:00</td> <td>11:10</td> <td>14:25</td> <td>16:05</td> </tr> </table>	ららぽーと愛知東郷	7:30	8:40	9:40	10:50	14:05	15:45	藤田医科大学病院	7:50	9:00	10:00	11:10	14:25	16:05
ららぽーと愛知東郷	7:30	8:40	9:40	10:50	14:05	15:45									
藤田医科大学病院	7:50	9:00	10:00	11:10	14:25	16:05									

問合せ 企画政策課施設・交通マネジメント係 ☎0562-92-8318

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

計画目標・評価指標		達成状況	考察
東郷セントラル地区を中心とした利便性の高い公共交通ネットワークの形成	公共交通全体の利用者数	努力目標：未達成 必達目標：達成 ●努力目標 214万人/年 (実績値) 1,939,925人/年 ●必達目標 じゅんかい君の年間利用者数15万人 (実績値) 160,724人	努力目標は未達成だが、新型コロナウイルス感染症について、移動の規制緩和されたことや公共施設及びららぽーと愛知東郷へのバスマップの設置、バス路線再編から一年経過したことなどから、利用者数は前年(1,753,498人)から増加。必達目標については達成。
東郷セントラル地区のバスターミナルを活用し、公共交通相互の連携を強化	都市拠点内※の利用者数 ※和合西口、和合、いこまい館、ららぽーと愛知東郷バス停	未達成 目標値：1,200人/日 実績値：1,142人/日	令和3年度はららぽーと愛知東郷開業直後であったため、名鉄バス和合西口の利用者数が著しく増加。令和4年度はららぽーと愛知東郷の来場者数が落ち着いたことから和合西口の利用者は減少したものの、じゅんかい君のいこまい館及びららぽーと愛知東郷バス停の利用者数が増加したため、前年と横ばい(1,142人)となった。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

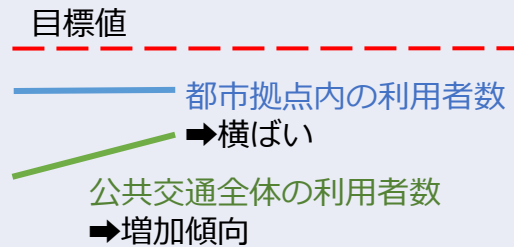
計画目標・評価指標		達成状況	考察
既存の公共交通に新たなモビリティを加えた多様な公共交通手段を提供	じゅんかい君の満足度 (不満割合)	目標値：令和2年度 (19.3%) 未満 実績値：—	令和5年度の間評価時及び令和8年度に調査予定。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通と福祉の視点ですべての関係者が連携・協働した取組を展開 ・公共交通を安心して利用できる対策の実施と情報を提供 	庁内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数	達成 目標値：12件/年 実績値：12件/年	商業事業者と連携したイベントや広域にまたがるバスイベントを実施する際は、商業事業者のホームページでの掲載や近隣市の広報誌にも掲載を依頼するとともに、町のSNSでも発信。イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施。

※目標値はすべて令和8年度時点でのもの

4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

計画目標の現在の到達点

公共交通全体の利用者数は現状で未達成であり、都市拠点内の利用者数は横ばいの状況である



庁内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数については達成している。

今後の取組方針

- ・今後も引き続き商業事業者と連携した利用促進策を実施
- ・来年度は、こどもエコばんぱくや町民向けのバスの乗り方教室に加え、学童向けのバスの乗り方教室を実施することで、利用促進を実施する予定。

➡目標値について、新型コロナウイルス感染症流行前のものであるため、令和5年度の計画見直しの中で目標値を見直すことも検討。

- ・今後も引き続き尾三地区広域公共交通会議を活用し、路線やイベントについて利用促進策を実施
- ・公共交通利用の多い高齢者と密に接する地域包括支援センターと連携し、バスやデマンドタクシー利用について広く周知する。

➡引き続き、町内他部署や複数の実施主体が連携・協働し、目標値を達成できるよう取り組む。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	バスターミナル発着となったことを受け、旅客需要にどのような効果があったか検討	じゅんかい君では、バスターミナルで他コースに乗り継ぐことができる無料乗継券を発行する。乗り継ぎに配慮したダイヤ設定を行うことで、バスターミナルが乗降者数ともに最多となっている。	乗降カウントシステムを活用し、引続き旅客需要の把握・分析を行う。
	北コースについて、平均乗車密度や収支率が低水準であるため、今後、新型コロナウイルスの影響を勘案しながら、利用促進を実施	平和堂ららぽーと愛知東郷店及びららぽーと愛知東郷に協賛いただき、じゅんかい君等の利用者を対象としたイベントを実施。	引続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、町内外の人が多く訪れるららぽーと愛知東郷内でのバスマップの設置やイベント開催等を行い、バス利用促進の啓発に努める。

※前回：令和4年3月10日、前々回：令和3年3月1日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>令和4年3月31日までのデマ ンドタクシー※の実験で課 題となった乗合率の向上等 に留意し、本格運行後も必 要に応じて運用面の見直し を検討</p> <p>※民間の空きタクシーを利用した 補助制度</p>	<p>実証実験結果から、本町に おいては貸切車両でなくタ クシーの空き車両を活用す る形が最適と判断し、その 形で令和4年7月1日から本 格運行を開始。</p>	<p>デマ ンドタクシーについて、 引続きデータを収 集・分析し、必要に応じ て運用面の見直しについ て検討していく。 なお、じゅんかい君の利 用者については、デマ ンドタクシー導入後も減少 傾向はみられないため、 交通手段が増えたことで 外出機会が増加したもの とみられる。</p>
	<p>地域間幹線系統である星ヶ 丘・豊田線について、輸送 量が補助要件を下回ってい ることから、利用状況等を 分析の上、路線のあり方に ついて沿線市町とともに検 討</p>	<p>乗降者数について、イオン 三好店アイモール前バス停 の利用が多いことから、本 町・みよし市・名鉄バス・ イオン三好店で令和5年度 のイベント実施について協 議。</p>	<p>星ヶ丘・豊田線について、 チラシの配布やイベント 開催等を行い、バス利用 促進の啓発に努めるとと もに、沿線市である日進 市及びみよし市と路線の あり方を検討していく。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	バス路線再編後のデータ把握及び分析	令和3年4月のバス路線再編に合わせ、バスの乗降カウントシステムを導入。便別・料金種別等の利用状況を把握・分析。	人数カウント管理システムを利用し、移動の動向等利用状況を分析し、利用者の需要の把握に努める。
	近隣市町と連携した公共交通ネットワークの構築	バスターミナルを活用した近隣市との交通ネットワークを構築する可能性について、令和3年3月に開催した尾三地区広域公共交通推進会議・愛知県合同会議で協議した。	バスターミナルを活用した交通ネットワークや広域的なバス利用促進策について、近隣市と引き続き検討。
	バスを利用することが困難な町民の足の確保の検討	バス停まで移動することが困難な人への移動支援のため、デマンドタクシーの実証実験（第一期：令和2年12月～令和3年2月、第二期：令和3年5月～8月）を実施した。	第二期実証実験の結果、輸送効率と比較して経費が膨大であったため、町の実状に合わせた輸送体系について交通事業者と協議し、第三期実証実験を実施（令和3年11月～令和4年3月）。（本格運行令和4年7月～）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
東郷町 地域公共 交通会議	① [A]		② [A]	③ [A]
実施すること	・前年度実施事業と計画の評価(確定) [C]	・次年度実施事業の検討 [P]	・今年度事業中間評価 [C]	・事業報告とりまとめ ・計画の評価 ・次年度の予定 [C]
	<その年の予定事業の実施> [D]			
ポイント	・確保維持改善計画		・次年度予算要求	・事業評価 (第三者評価委員会)

【地域公共交通会議の実施状況】

(令和3年度)

■ 第1回地域公共交通会議 6月21日

主な議題：令和2年度事業報告及び歳入歳出決算報告、生活交通確保維持改善計画

■ 第2回地域公共交通会議 1月14日

主な議題：令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価、令和4年度東郷町地域公共交通計画に関する事業計画、令和4年度東郷町地域公共交通会議予算
(令和4年度)

■ 第1回地域公共交通会議 5月23日

主な議題：令和3年度事業報告及び歳入歳出決算報告、生活交通確保維持改善計画、地域公共交通計画の評価等結果

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
令和4年12月16日

令和4年12月16日

協議会名: 東郷町地域公共交通会議
評価対象事業名: 地域内フィードシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
瀬戸自動車運送株式会社 南西コース左・右回り	ららぽーと愛知東郷～祐福寺～ららぽーと愛知東郷	<p>・バスターミナル発着となったことを受け、旅客需要にどのような効果があったか検討 →南西コースは、町内主要施設及び住宅地を結ぶ路線であり、バスターミナルで乗り換えることで、町北東部及び鉄道駅へのアクセスが可能となる。そのため、町北東部及び鉄道駅を経由する他コースに乗り継ぐことができる無料乗継券を発行するとともに、乗り継ぎに配慮したダイヤ設定により乗り継ぎを円滑にしている。その結果、バスターミナルが乗降車数ともに最多となっており、コース利用者に占める乗継券の利用割合についても他路線と比較して最も高い。</p> <p>(参考) ・北コースについて、平均乗車密度や収支率が低水準であるため、今後、新型コロナウイルスの影響を勘案しながら、利用促進を実施 →令和4年9月9日から10月31日までの期間、ららぽーと愛知東郷に協賛いただき、じゅんかい君及び東郷・藤田医大バス利用者にはららぽーと愛知東郷で利用できる優待カードを配布。</p> <p>・令和4年3月31日までのデマンドタクシーの実験で課題となった乗合率の向上等に留意し、本格運行後も必要に応じて運用面の見直しを検討 →実証実験結果から、本町においては貸切車両でなくタクシーの空き車両を活用する形が最適と判断し、その形で令和4年7月1日から本格運行を開始。</p> <p>・地域間幹線系統である星ヶ丘・豊田線について、輸送量が補助要件を下回っていることから、利用状況等を分析の上、路線のあり方について沿線市町とともに検討 →乗降者数について、イオン三好店イモール前バス停の利用が多いことから、本町・みよし市・名鉄バス・イオン三好店で令和5年度のイベント実施について協議。</p>	A 遅延などによる運休はなく、事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A <p>【南西コース】</p> <p>■事業の目標・効果 目標利用者 22,675人 利用者実績 24,664人(達成)</p> <p>新型コロナウイルスの感染症のまん延により、利用者数について多少の浮き沈みがあったものの、極端な自粛もなく、また、令和3年4月1日の再編から一定期間経過し、路線が定着したこともあり、安定した利用があった。</p> <p>(参考) ■輸送量に関するその他事項 ・運行回数 2,756回 ■収支率に関する事項 ・令和3年度収入実績値 694,757円(補助金交付申請書より。) ・令和3年度経常経費 17,296,382円(補助金交付申請書より。) ・令和3年度収支率 694,757円÷17,296,382円=0.04</p>	<p>・乗降カウントシステムを活用し、引続き旅客需要の把握・分析を行う。</p> <p>・引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、町内外の人が多く訪れるららぽーと愛知東郷内でのバスマップの設置やイベント開催等を行い、バス利用促進の啓発に努める。</p> <p>(参考) ・デマンドタクシーについて、引続きデータを収集・分析し、必要に応じて運用面の見直しについて検討する。</p> <p>・星ヶ丘・豊田線について、チラシの配布やイベント開催等を行い、バス利用促進の啓発に努めるとともに、沿線市と路線のあり方を検討していく。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年12月16日

協議会名:	東郷町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>全国的に少子高齢化が進んでいることから、本町においても運転免許証の返納者は増加することが予想されるが、本町には鉄道駅がなく、自動車交通に依存する交通特性となっている。</p> <p>このような中、本町では、東郷中央土地区画整理事業を核とするまちづくり「セントラル開発」において、まちに不足する大型商業施設や本町の交通結節点となるバスターミナルを整備し、町民が歩いて暮らせるコンパクトシティを目指したまちづくりを進めている。このことから、本町では、令和3年4月より本町のコミュニティバスであるじゅんかい君の路線再編を行い、全路線、バスターミナルを発着点としたことから、南西コースにおいては、このバスターミナルで乗り継ぐことにより、公共交通機関を利用して町北東部及び近隣市の鉄道駅にアクセスすることが可能となった。</p> <p>それにより、町南西部の町民の公共交通における移動を円滑にするとともに外出機会の創出を図ることを目的として、事業を実施した。</p> <p>町南西部においても基幹バスは運行しているが、主要道路での運行となっており、そのみでは町南西部全域を網羅できない。そのため、基幹バスやじゅんかい君等が乗入れるバスターミナルでの乗り継ぎを円滑にし、町南西部の町民の公共交通における移動を円滑にするとともに外出機会の創出を図るためには、当該事業を維持することが必要である。</p>